

大型クラゲ出現状況調査 200カイリ水域内漁業資源調査の内枠調査 (有害生物出現調査並びに有害生物出現情報収集・解析及び情報提供委託)

富安正藏，調査船くろしお乗組員一同

【目的】

我が国周辺海域における大型クラゲ出現状況を調査船による洋上調査，漁船や市場での聞き取り調査等で迅速に把握し，総合的にそれらのデータを解析して大型クラゲの分布に関する情報を広く漁業者等に配信することを目的とする。

【方法】

- 1 洋上調査 調査船「くろしお」により下記の日程及び別図の調査ラインにより目視調査，一般海洋観測を行った。

平成24年 8月16～17日（調査ラインA）

平成24年 9月19～20日（調査ラインA）

平成24年10月10～11日（調査ラインA）

- 2 陸上調査

(1) 県内16漁協へ毎週水曜日に聞き取り調査を行った。

【結果】

- 1 洋上調査

大型クラゲは確認されなかった。これは，調査期間内の陸上調査結果からも大型クラゲは確認されなかったことと矛盾しない結果となった。

- 2 陸上調査

大型クラゲの発生の報告は無かった。

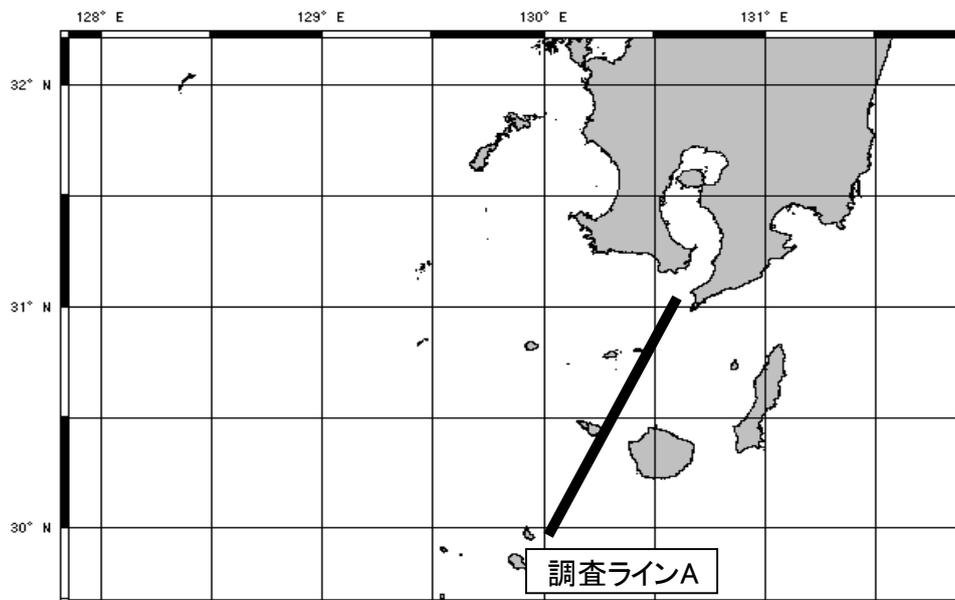


図 大型クラゲ調査船目視調査ライン

調査ラインA (北緯31° 06 東経130° 31.5 と北緯30° 00 東経130° 10 を結ぶ線)

表1 各調査ラインと定点の位置

調査ライン	定点名	緯度	経度	水深m	備考
A	ST1	31° 06.0 N	130° 31.5	250	
	ST2	30° 52.0 N	130° 28.0	260	
	ST3	30° 39.0 N	130° 21.5	350	
	ST4	30° 24.0 N	130° 18.0	590	
	ST5	30° 00.0 N	130° 10.0	615	